

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.25)No.	1092	(H.24)No.	1092
-----------	------	-----------	------

事務事業名	農地基本台帳事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
農業委員会事務局	農業委員会事務局	秋永 正人	

会計区分	事業コード	291501
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款	農林水産業費	農地基本台帳事業
項	農業費	(小事業名)
目	農業委員会費	農地基本台帳事業

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2	美しい自然に包まれた、憩いと潤いのある暮らし
	基本政策	3	新しい名張農業の振興と農山村の整備
	施策	1	農村環境整備
	小施策	1	魅力ある農業づくり
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
電子化したデータを用い、農業委員会の業務の省力化とデータの有効利用、適正管理(個々の農家の正確な経営面積の把握、選挙人名簿登載申請書の審査に利用) 耕作放棄地の解消及び発生防止対策の推進 「人・農地プラン」策定に向けた地域支援
事業内容
農業委員の法令事務処理に必要な資料として整備が義務付けられている農地基本台帳の管理を行う。(昭和60年農林水産省次官通知) ・農家の経営農地面積等詳細情報の整理把握

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.24年度(事業量・取組実績)	H.25年度(事業量・取組計画)	H.26年度(事業計画)	H.27年度(事業計画)	H.28年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	農地基本台帳電算化システム等保守委託料 189千円	農地基本台帳システム等保守委託料 210千円	農地基本台帳システム等保守委託料他 210千円	農地基本台帳システム等保守委託料他 210千円	農地基本台帳システム等保守委託料他 210千円

	H.24年度(決算見込)		H.25年度(作成時予算額)		H.26年度(計画予算)	H.27年度(計画予算)	H.28年度(計画予算)
直接事業費	189千円		210千円		210千円	210千円	210千円
内訳(千円)							
国・県支出金							
地方債							
その他()							
一般財源	(0)	189	210	210	210	210	
人工数							
職員	0.20人		0.20人		0.20人	0.20人	0.20人
臨時職員等							
概算人件費	(0千円)	1,540千円	1,540千円	1,540千円	1,540千円	1,540千円	
+ 総事業費	(0千円)	1,729千円	1,750千円	1,750千円	1,750千円	1,750千円	

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業などは点検対象外)

考察(H.24年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
耕作放棄地パトロールの成果と併せ、耕作放棄地地図作成の基礎データとして利用した。そのなかで耕作放棄地予備軍(現在耕作しているが5年以内に耕作者が不在となる可能性の高い土地)の把握と予防対策が急がれる。	・耕作放棄地対策と同時に、耕作放棄地予備軍の情報収集、把握、他の耕作者へのあせんに注力する。 ・「人・農地プラン」を策定件数が増えるよう農林資源室とともに地区に対し支援を行う。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	農地を将来に亘って良好な状態で維持するための耕作放棄地対策、予防対策の基礎的なデータとして利用できた。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 検討している・今後可能性がある(検討内容を記載)	地域づくり組織のうち、農地があるのは11地域である。耕作放棄地予防対策と「人・農地プラン」策定のため、地域づくり組織、区、自治会と地区の農業委員に対し情報収集と働きかけを行う。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

〔選択肢〕 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(現行)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関係する主な市の計画
システムの保守管理に必要な固定経費であり、見直しにはなじまない。	